

有帆公民館だより

あいほ

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp>

令和3年1月

NO.52

有帆公民館発行

TEL 84-4090(FAX同)

あけましておめでとうございます 有帆ふれあいまつり



門松づくりに参加された皆さん「有帆2021年も頑張ります！」



立派な門松が完成



竹の先端部「そぎ」作製中



野菜・花がいっぱい



一生懸命輪飾りづくり

12月20日(日)、恒例の「有帆ふれあいまつり」が開催されました。今回はコロナ禍の影響で規模を縮小しての開催でしたが、正月飾りに、門松・輪飾りづくりが行われ、立派な門松が小学校・郵便局・児童館・公民館にそれぞれ飾られました。また、輪飾りづくりは、約60人の親子が挑戦しました。

当日は早朝からボランティアの皆様が準備など一生懸命お手伝いいただきありがとうございました。

昨年、新型コロナウイルスの影響でふるさとの行事ができなかったことは非常に残念でしたが、有帆川の清掃とふれあいまつりができたことを嬉しく思います。

2021年は幸せな年になりますよう心からお祈りするとともに、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

(有帆ふるさとづくり協議会 田中照男)



おいでませ 公民館



明けましておめでとうございます。昨年は生活がガラリと変わった1年でしたね。そんな中で様々な知恵や工夫を凝らし新たな試みや挑戦が生まれた年でもあったのではないのでしょうか。有帆公民館も試行錯誤を重ねながらこれからも一歩一歩前進できればと思います！

本年も有帆公民館をどうぞよろしくお願い致します♪

防災さんぽで地域の防災力UP!!

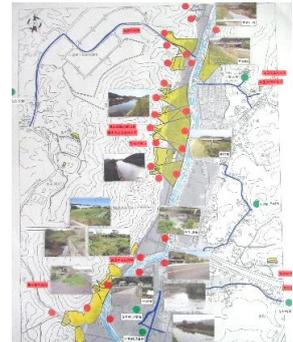


防災士さんとともに半日かけて有帆をぐるり身近な危険を知り、話を共有することで、防災に対する個人の意識だけでなく、自分たちの地域は自分たちで守ろうという皆さんの熱意が伝わる時間となりました。頼もしいです！皆さんお疲れ様でした◎

10月～12月に開催した「防災さんぽde減災マップを作ろう！」では、実際に有帆地区をみんなで歩き、危険を感じたことや気付いた点をもとに減災マップを作りました。防災目線で見ると川の右岸と左岸の高低差や山の急傾斜地など気付くことがたくさんあり、マップを作る際も様々な意見が飛び交いました。



熱心な角石自治会の皆さん



完成した減災マップ

調理室で即席マジックSHOW!



破ったはずの新聞が元通り

12月の男性料理教室で、受講者の熊野逸夫さんが特技のマジックを披露してくださいました。チャララララ～♪の音楽とともにコップや新聞を使ったマジックが始まると、それまで賑やかだった調理室は静まりかえり、真剣にマジックに見入る男性料理教室の皆さん。1つマジックが終わるごとに拍手喝采で、とても楽しいひと時を過ごすことができました！熊野さん、ありがとうございました◎

歳を重ねても不調に負けない体づくりを日頃から!

9月～11月に開催した「シニアのための体の使い方教室」では、よつば整骨院の吉田賢司さん・可奈さんに腰痛などの予防や姿勢を保つために効果的なストレッチ、免疫力を高めるポイントについて教えていただきました。ストレッチやトレーニングを数セット続けると、皆さんじわじわ額に汗が！後日筋肉痛になったと話された受講者さんもいました。今回学んだ体の使い方を続けて、これからも健康で元気に自分らしく過ごしたいですね♪



お腹の筋力強化トレーニング



★吉田先生のいきいきワンポイントアドバイス★

「姿勢は指からつくる」

高齢になるとだんだん指が反りづらくなります。指を一本ずつ5～10秒反らせてください。指先だけでも反りやすくなると身体も反りやすくなりますよ。ぜひ続けてみてくださいね。



吉田 賢司 先生

鏡を見ながら嚙下(えんげ)体操

ホームページにも講座の様子や受講生募集などの情報を掲載しております。ぜひご覧ください♪

有帆公民館

検索



知っちよる有帆

市民の心を潤す江汐湖

江汐湖は高泊開作の灌漑用ため池として造成されたものです。その歴史は、萩藩の直営で第2代藩主の毛利綱広(つなひろ)。当職の家老は阿川毛利就方(なりかた)で、開作候補地を広く藩内に求め、その調査を各宰判の代官に命じました。

船木宰判の代官が、高泊湾が適地であることを報告したのは寛文5年(1665)のことでした。当職の就方は現地を調べ歩き、代官の報告を確認し早速工事に取り掛かるように命じました。高泊開作事業が完成したのは寛文8年(1668)のことでした。

開作地を水田にするためには、灌漑用水が必要であるためその用水を有帆川とため池を利用することとし、開作地の東半分(後の東高泊)は有帆川、西半分(後の西高泊)は江汐湖など可能な場所をできるだけ見つけてため池を作り、水を確保することにしました。



江汐大橋と江汐湖

有帆川に火箱という所に石の井堰(後に石井手という地名になる)を築き、川土手に取水口2ヶ所を設けました。江汐湖は千崎村、高畑村の山峡を塞ぎ止め、面積23haの水面を有し、南の方に東西約100mの堰提を築いてため池としました。「宇部の常盤か千崎の江汐、股は百股九十九浴中に蛇がいる、鬼が住む」と俗謡にもうたわれた常盤湖より25年前の寛文12年(1672)に築かれました。江汐湖から流れ出る主流は櫛川となり、長田屋川や江川などに分かれて西高泊の田を潤し、最終的に遊水地に集まって浜五提唐樋より海に出ます。

現在は、周辺一帯は自然を基調とした都市公園に指定され、豊かな植生と多くの野鳥獣に恵まれ、自然度の高い公園となっています。

(語り部の会 安藤一)



江汐公園のいろはもみじ

有帆っ子に様々な学びを★地域の先生が小学校で大活躍



青空の下でお勉強



幼虫を放流

10月、有帆公園にてホタル部会によるホタル学習が行われ、3年生にホタルの生態や特徴など、写真を使って教えました。その後、小学校にあるホタルのおうちで大切に育ててきた幼虫をホタル川にみんなで見送りました。



上手にのれたよ😊

11月、12月には、有帆竹灯会が切り出しから製作まで行った竹ぼっくりと竹馬で教室が開催されました。初めて乗るといふ子どもも多く、夢中になって練習する姿を見て竹灯会の皆さんの乗り方指導にも熱がこもっていました。いい体験になったのではないのでしょうか。



1年生は竹ぼっくり



6年生は竹馬を

竹ぼっくりはもうパッチリ♪





行事予定

【1月～3月】

1,700世帯 人口 3,716人
男 1,808人 女 1,908人
(12月1日現在)

1月

- 8日(金) 男性料理教室
- 11日(月) どんと焼き
- 12日(火) 知って得する講座(新春人生講話)
- 12日(火) まなびト・ふれ愛カフェ～知って安心！スマホのいろは～
- 19日(火) まなびト・ふれ愛カフェ～知って安心！スマホのいろは～
- 29日(金) まなびト・ふれ愛カフェ～未来に伝えたい！有帆の年中行事～
- 30日(土) 有帆セーフティネットワーク研修会



2月



- 2日(火) まなびト・ふれ愛カフェ～知って安心！スマホのいろは～
- 9日(火) まなびト・ふれ愛カフェ～知って安心！スマホのいろは～
- 13日(土) 有帆地区防災訓練
- 19日(金) 地区社協 食事宅配サービス
- 21日(日) 鯉の放流
- 22日(月) 1日限りのおやじ食堂

3月

- 12日(金) 地区社協 会食会
- 下旬 ふれあいウォーキング



早朝から活気あふれる有帆朝市 ♥有帆産の新鮮な農産物あります♥



野菜50円コーナーも！
スイートポテトやゼリーも人気♥

今年17年目を迎える“有帆朝市会”。現在出荷者10名で毎週水・土曜の8時と水曜の16時に村川呉服店さん前にて野菜や果物、米のほか、加工品の漬物、味噌なども販売しています。この日青物野菜を買いに来たという岡村さんは、「安いのはもちろん収穫から手元に届くまでが早いので新鮮で長持ち。主婦としては助かりますよ」と教えてくれました。朝市会の佐々木ノブ子会長は「毎回とても賑やかですが、朝市会も高齢化が進んでいるのでぜひ若い方にも出荷者として参加してほしいです」とお話しされました。販売所としてだけでなく、地域のふれあいの場としても長い間愛されている有帆朝市にぜひ足を運んでみてください。

♥ あいほ ♥ ふるさと絆!ルー

①私の信念又は好きな言葉 ②地域への思い ③次にリレーする人へ一言

34	藏重 正好(くらちゃん)
	① 人と人との繋がり
②住み慣れた歴史ある有帆、地域の皆さんとの繋がりの中で色々な活動に参加する事ができた事。生き活きと活気あふれる有帆の盛り上がり願っています。	
③何事にも一生懸命な仁保の上の自治会長、伊藤さん。よろしくお願いします。	

仁保の上の「かつちゃん」さんにバトンタッチ

35	伊藤 勝義(かつちゃん)
	① 一期一会 やってみなくちゃ わからない!
②転勤族でしたが有帆に帰り色々なイベントに参加して地域の人達の優しさ、思いやりにふれ絆も広がりました。男性料理教室、有帆会ゴルフも頑張ってます!	
③子ども会の応援、ナフコの店員さんとお忙しい日々! 優しく話しやすい由紀ちゃん頑張ってます!!	

仁保の上の「ゆきちゃん」さんにバトンタッチ

36	藤田 由紀子(ゆきちゃん)
	① あなたがいるから 私がいる
②自然と優しさにあふれる有帆は私の自慢のふるさとです。地域交流行事では毎回楽しく参加させて頂いています。行事に携われた方々には感謝しています。	
③いつも優しく気配り上手な山田さん。これからも親子共々よろしくお祈りします。	

➡ 次号、中村の山田さんへ続く